

あやの台北部用地の工事進捗状況

令和4年7月末時点



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



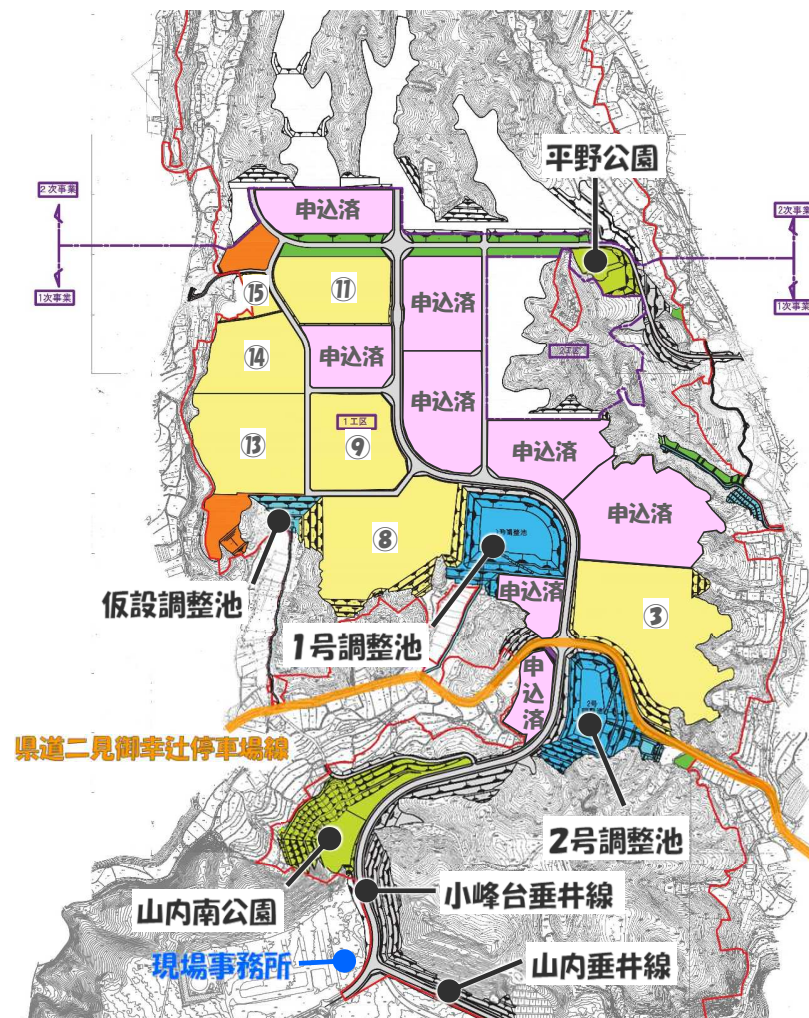
12 つくる責任
つかう責任



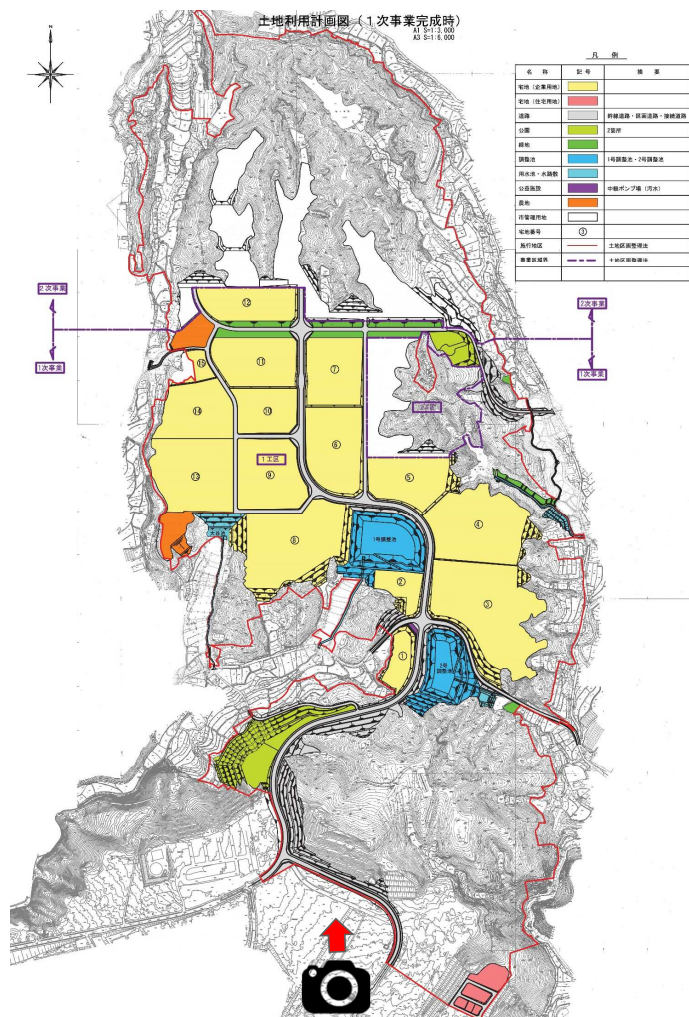
15 陸の豊かさも
守ろう



工事進捗状況① 令和4年7月末(工事着手後2年経過)



工事進捗状況②



①令和2年7月末（工事着手時）



②令和3年7月末



③令和4年1月末



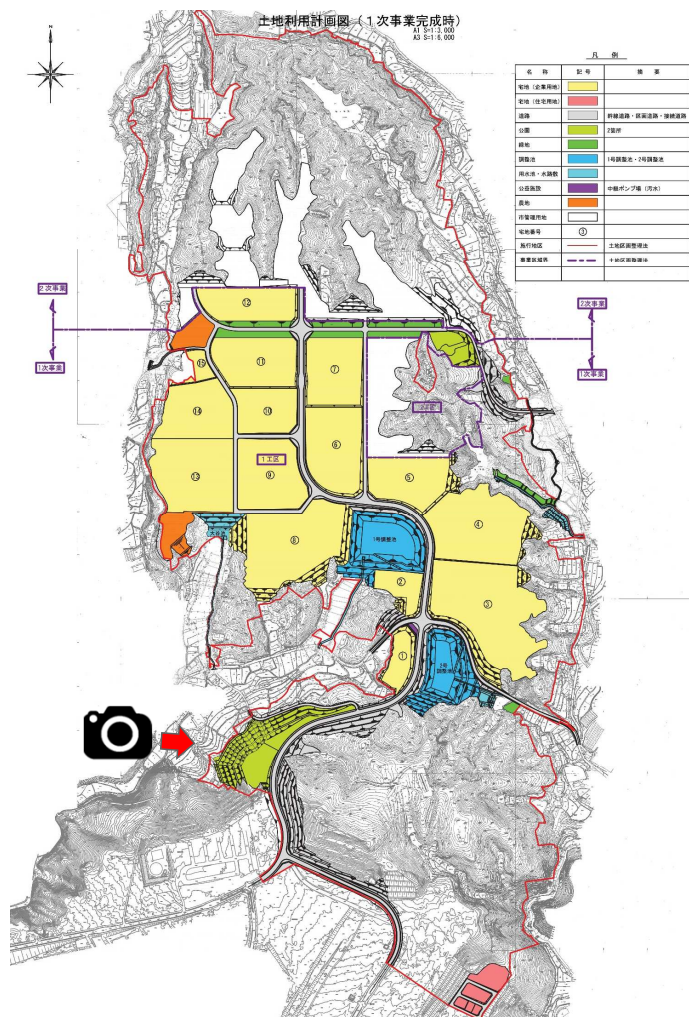
④令和4年7月末



橋本市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

工事進捗状況③



①令和2年7月末（工事着手時）



②令和2年11月末



③令和3年7月末



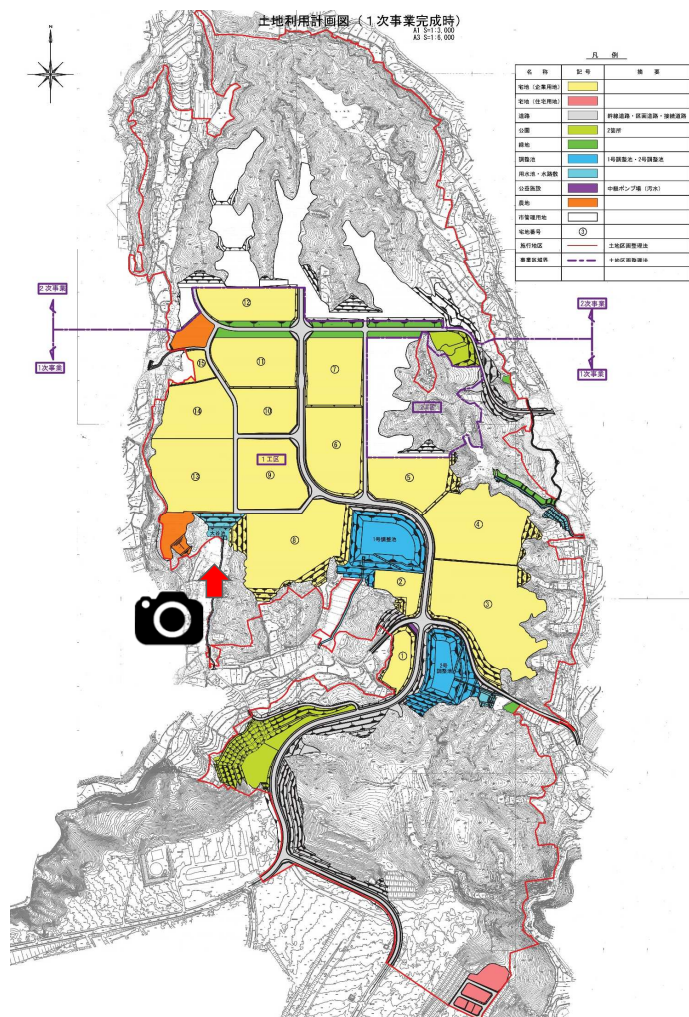
④令和4年7月末



橋本市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

工事進捗状況④



①令和3年5月末



②令和3年9月末



③令和4年1月末



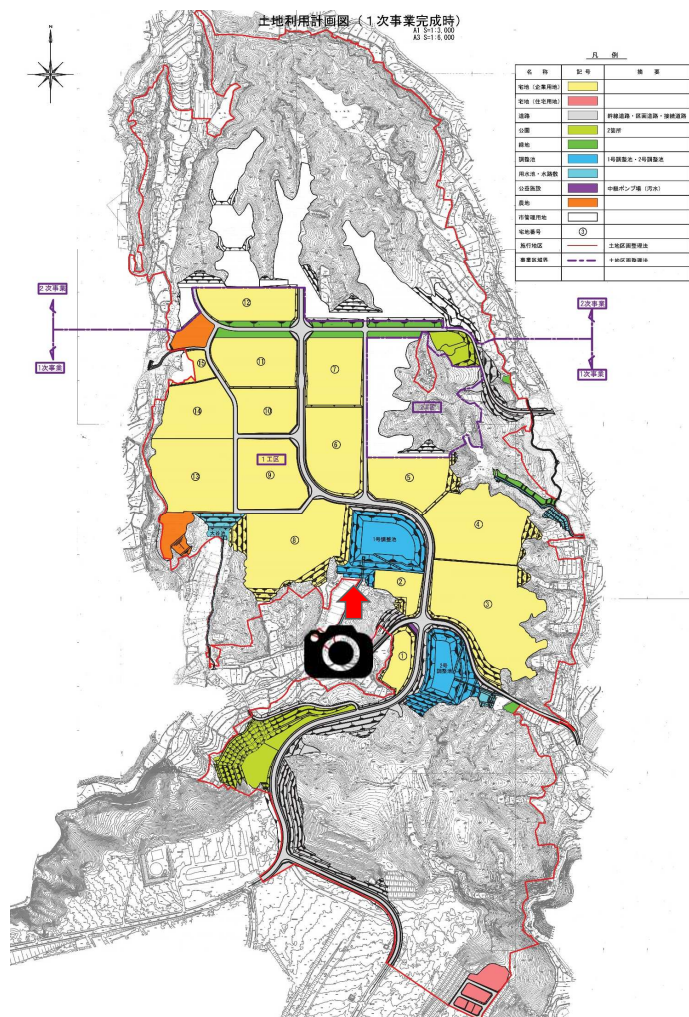
④令和4年7月末



橋本市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

工事進捗状況⑤



①令和2年12月末



②令和3年3月末



③令和4年1月末



④令和4年7月末



橋本市

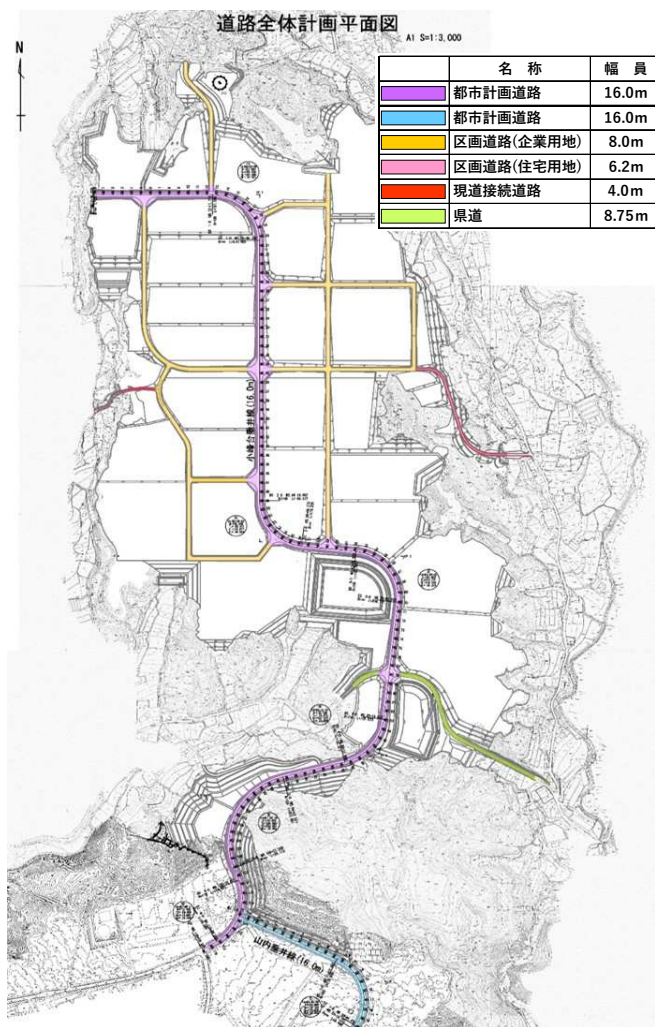
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



工業団地の造成事業で 取り組むSDGs



インフラ整備により工業団地としての利便性を向上



- 大型車両等が快適に工業団地内へアクセスできるように、主要幹線道路として都市計画道路や区画道路を整備し、移動や輸送等の利便性を向上させることで、企業誘致の推進を図ります。
- 大型車両にも対応した舗装構成とすることで、走行の安全性を確保します。

職住近接のまちづくりにより持続可能な発展を可能にします



- 海拔約200mの高台に立地するとともに、調整池や雨水幹線等のインフラ整備を行うことで、自然災害に強い工業団地を開発します。
- 居住と産業が共存する職住近接のまちづくりにより、地域経済の発展や活性化を図ります。



伐採木の再利用により産業廃棄物の発生を削減します



- 開発事業で伐採した木の幹は、バイオマス発電施設で再利用を行っています。
- 伐採木の枝や切株、根、竹については、現場内で破碎チップ化し、法面保護材としてチップ材を吹き付けることで、廃棄物を削減します。

樹林環境や生態系の保全を図ります



- 開発事業区域内で採取したドングリを育苗し、その苗木を用いて造成森林とすることで、周辺環境との調和を図り、樹林環境を保全します。
- 開発事業により失われる自然環境に対しては、生息環境を代償するビオトープを造成し、昆虫類や植物、中高木を移植することで、生態系の保全を行います。



お問い合わせ



- 橋本市 経済推進部 企業誘致室
- 和歌山県橋本市東家一丁目1番1号
- ☎ : 0736-33-1211
- e-mail : shoko@city.hashimoto.lg.jp